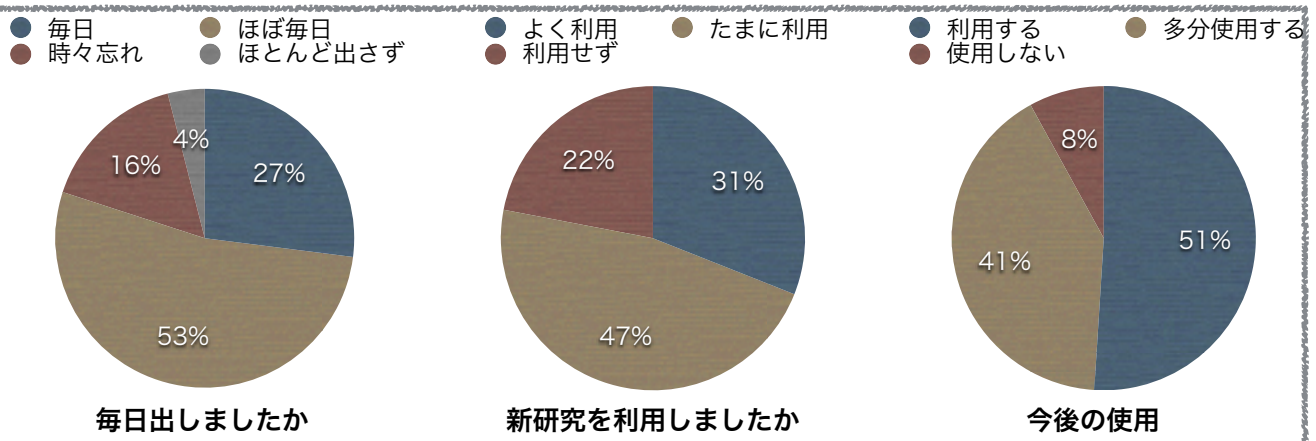


次への一步

先週の後期懇談ありがとうございました。短い時間でしたが、それぞれしっかりと話し合いができたでしょうか。三者で話をした内容を生徒のみなさんはもう一度確認し、次への一步に向けて取り組んでいきましょう。

新研究への取り組み

いよいよ今週で新研究の提出が終わります。昨年の12月から取り組み始め1年が経ちます。ここまでを振り返ってどう感じますか？昨年の学年通信には「本物は続く 続ければ本物になる」という言葉を伝えました。しっかりと考えて取り組むことは大切ですが、それ以上に毎日提出していくことに意味があり、それが最終的には自分自身への自信につながると1年前にも話をしました。



上のグラフは先日とった新研究についてのアンケート結果です。多くの生徒が新研究を効果的に活用しているようですが、ほとんど提出できなかった生徒もいたことが非常に残念です。3年間の学習内容がきちんとまとめられたこの教材は、実はこれからの受験勉強で最も効果を発揮する学習教材です。提出が終わったからといってそのままにするのではなく、今後も使い続けましょう。授業で使用する教科もあります。

今週の予定

12月19日(火)		
12月20日(水)		
12月21日(木)		放課後) 敬愛特進入学事前指導
12月22日(金)		授業最終日、私物の持ち帰りをしましょう 城北専願Ⅱ・一般志願書締め切り
1月9日(月)		授業開始日、第8回附中模試

保育実習を行いました

先週は家庭科の授業の一環として保育実習を行いました。事前に製作したおもちゃも持参し、園児たちにあそんでもらいました。いくつかのおもちゃには大変興味をもってもらったようです。実習中には園児とあそぶ3年生の姿が大変ほほえましく見えました。



文武併進を今の生活に当てはめる

夜遅くまで勉強し、学校の授業では居眠りをしている人。学校の授業中に塾の宿題をしようとする人。家族の団らんに「自分が受験生だから」とすぐに部屋にこもってしまう人。本来やるべきことを、本来あるべき姿を犠牲にしないで成り立たない受験勉強は、真の学習とは言えません。先日ある高校の先生がおっしゃっていました。『文武両道などといいますが、部活動のために勉強をいい加減にしている生徒は、結局部活動の記録も伸びません。また勉強のために部活動をいい加減な練習しかしていない生徒も結局成績は伸びません。それらの生徒はかならずいい加減にしているものを理由にしようとする傾向が見られます。』

文武併進とは本校の校訓です。今のこの学年の生活にこの校訓を当てはめてみましょう。先ほど上で書いたようなことは本当に「併進」といえるのでしょうか。受験を目の前にして不安になる気持ちや焦る気持ちはよくわかります。だからこそ、常に目の前にあるものを一生懸命にする。日々の授業、掃除や給食準備、友達との語らい。それら一つ一つもこの中学校でしか味わえないもの。ぜひ進路実現と日常生活との「併進」を目指してほしいものです。

入試を前に～心にとめておきたい10のこと～

《入試前日》

- ①夕食は消化の良いものを。(朝食・弁当も同じ)
- ②勉強は早めに切り上げて、ゆっくり風呂に入り、普段より早めに就寝する。

《入試当日》

- ③遅くとも6:00頃には起床。
- ④必ず朝食をとる。トイレも済ませておく。
- ⑤持ち物の再確認。受験証を忘れない。
- ⑥急病、自己、受験証忘れ、忘れ物の場合、慌てず引率の先生に報告または学校に連絡をする。もし受験する高校の目前まで来ていて、受験証などの忘れ物に気付いても家に引き返さない。

《試験中》

- ⑦まず、問題用紙・回答用紙に受験番号を記入する。
- ⑧分かる問題、得意なところからやる。時間配分を考えて。文字や数字ははっきりと丁寧に。
- ⑨解き終わっても（できなくても）頭を伏せたり、姿勢を崩したりしない。
- ⑩テスト間の休憩は次のテストへの気分転換。「できた」「あった」「まちがえた」は禁句！